

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 7 日 (17:30 ~ 19:00)

1 . 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 1 1 人 (常勤 8 人 非常勤 3 人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5 人	6 人	1 人	1 1 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・ 1 ヶ月以内に、そのように関わっていくのか基本的な支援計画を立案・ 初めての訪問では、ケアスタッフと管理者 2 名体制とする。その際医療面の支援が必要な方では看護師を訪問する。・ 事前に知りたい情報をピックアップして面談の際に確認できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ 職員休憩室にホワイトボードを設置し、そこにご本人の情報を記入していき、どのように関わっていけるとよいのか? を考えやすい工夫をしている。・ 初めての訪問の 2 名体制は、なかなか出来ていない。医療面の支援ではお薬情報は必ず確認するようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	2		1 1
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		7	4		1 1
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	5	5		1 1
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	5		1 1

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ① = 毎月2回の職員会や毎朝のミーティングで話し合う場があり、また事前情報を回覧し共有できている。
② = 事前面談でサービス希望の内容をご家族からお聞きしている。
③ = 積極的に声をかけたり、丁寧な対応を心がけている。
④ = 開始前や契約時にはゆっくり話を聞いている。また開始間もない時期には、連絡ノートに様子を記載したり送迎時の声掛けや何かあった際には電話等直接話すことを心がけている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①② = ご家族の希望していること（通い・宿泊・訪問）は利用出来ても、ご本人が本当に望んでいることを把握できていないまま支援している。ご本人の望んでいることを聞こうとする努力が足りないのでは？
③ = 自宅へ訪問する時は1対1になるので配慮できるが、通い中は他の方々もいてケアを優先してしまい十分な配慮が出来ていない
④ = 送迎時に家族からゆっくり話をお聞きする時間がとれず、また面接技術も不足しているので不安をしっかりと受け止められていないのではないかと

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 休憩室のホワイトボードに、新しいご利用者の軒下マップや確認できた情報を記載しスタッフ間で共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 7 日 (17:30 ~ 19:00)

2 . 「～したい
の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	4 人	6 人	1 人	人	11 人

前回の改善計画
・ 新規の方の登録後、1 か月間は「軒下マップ」をホワイトボードに記録 (ご利用者様が言われた言葉等をその都度記入してみる) し、スタッフ間で情報共有する

前回の改善計画に対する取組み結果
・ ホワイトボードに記載することで、休憩中に目にすることができ情報も入りやすい
・ 書いてあることで確認しあえるようになっている
・ 積極的にボードに記載することが少なかった
・ ボードに情報がピックアップされており分かりやすかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール) 」がわかっていますか？	1	3	8		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		4	6		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		3	8		11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	5	4		11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①② = 自分の担当している利用者や「○○したい」と言える方は把握しやすい。

③④ = ミーティング等で伝える努力をしている。また記録にも具体的に記載し、関わっていない職員も把握し対応しやすいようにしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①②③ = ご本人にとって本当の望むことを捉えられていないまま、その都度のケア（送迎や入浴等）提供だけになってしまっている。ご家族の希望しか捉えていないのかもしれない。意識してご本人の言葉を聞けていない。

④ = なぜそう言われたのか？なぜそのような行動なのか？を考える力が不足しているし、意識できていないと感じる発言が聞かれている。振り返りする機会が不足しているのかもしれない。

次回までの具体的な改善計画

（200字以内）

○1年に1回は、きちんとご利用者もしくはご家族に「○○したい」「○○のように暮らしてほしい」等の望む暮らしをきちんとお聞きし、スタッフ全員で共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月7日(17:30 ~ 19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	4人	7人	11人

前回の改善計画
・ ご利用者全員、1年に1回ご自宅でサービス担当者会議を行なう
前回の改善計画に対する取組み結果
・ 殆ど出来ていない。事前開催日がわかると意見や確認しなくてはいけないことを依頼できる ・ 退院時のカンファレンス等にも参加できるという ・ 担当者会議までは出来ていないが、家族と話す機会をなるべくもつようになっている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5	6		11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	4	3		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	2		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	5	2		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	2		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① = 新たに「暮らしシート」を作成し全ご利用者分をファイリングしいつでも閲覧できるようにしたので

把握しやすくなった

②③④⑤ = 言葉で上手く表現できない方も含め「○○じゃないかな？」という話し合いはその都度ごとに現場スタッフで言語化し共有している。また即座にケア内容の変更が必要な時には、単独判断せずに他スタッフに報告相談をしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

① = まだまだ不足している。知りたいことをピックアップする努力をしていなかった。ご家族と話す機会があればもっと知れることが多い。

③④⑤ = チームで行うものなので自分だけがしている・出来ているではいけない。事業所の記録には残していたが、ご家族に対し口頭で伝えるのみで連絡ノートに記載せず、症状をきちんと主治医に伝えることが出来ていなかったケースがあった。関わりやケア内容は記録に残しても

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

○ケアマネジャーもしくは管理者と、ご利用者担当ケアスタッフの2名で、ご自宅でご家族から現在と今までの暮らしを伺う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成31年1月7日(17:30～19:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	5人	1人	人	11人

前回の改善計画	ご利用者ごとの‘軒下マップ’を作成していく
前回の改善計画に対する取組み結果	・新たに「暮らしシート」を事業所独自の情報まとめシートを作成したことで、ご利用者毎に軒下マップは作成できている。その際に詳しく記入できるようにご本人にもお聞きし作成した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	3		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	7		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	7		11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	9		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①② = 家族や知人と交流がある方がおおく、用事があるときには事前に連絡してもらえるので、どのように過ごしているか把握できる。ホワイトボードに軒下マップを記載した方については理解・把握出来る。③④ = 会話の中から歩いてこられたライフスタイルが聞け、記録におとすことができた。自宅での過ごし方は、家族から聞くことで把握していると思う	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族からまだまだ聞けていないことが多く、聞けると新しい関係性や日中の過ごし方が聞けるのでは？ ・ 軒下マップを作成したからといって理解ができたとはいえないと思う ・ なんごうでの絆は深まっているが、地域資源に関してまだまだ未開拓となっている ・ こんな繋がりがあるんだ！あったんだ！どのような支援が必要か？というところまで考えていないので、聞く姿勢に繋がっていないのかもしれない ・ 軒下マップの活用が書いて終わりになっているので、活用できていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○軒下マップを活用した支援を考えられるようにする。そのためには研修会に参加し、勉強会でスタッフ全員が学べるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成31年 1月 7日 (17:30 ~ 19:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	3人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所内だけでなく、他の事業所や地域資源を使った柔軟な体制をとれるようにしていく。それらを軒下マップとして作成していく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者によっては地域資源をとり入れた軒下マップ出来ている人もいる。 ・ イベントや活動していることを地域の方に見てもらえるように取り組んでいる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		6	5		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	4	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	8			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	6	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>① = 地区会館を利用したイベントや学童クラブ参加のイベント開催等、地域資源を採り入れたケアもされている。地域資源は、スタッフが出向いて関わりをもてる体制になってきている</p> <p>② = ご本人や家族の状況にあわせて「通い」を「訪問」に変更したり、訪問回数を増やして対応出来る</p>	

③④ = 日々の関わりや記録から本人の「変化」に対し朝礼ミーティングで話し合ったり、毎月開催している職員カンファレンスや勉強会を通じて共有出来ていると思う

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

① = 地域資源の活用出来ているのは半分程度で、特に一人暮らしの方は私達が知らないだけで、今も地域の方々と関わって生活されている。「なんごうえがお」の軒下マップを作成してみたが、まだまだ知らない地域資源はある。

② = 必要性の把握があいまいなまま提供に至っていることもあると思う

③④ = チームでケアを提供していくので、チーム連携で重要になるが「連携」としてはまだ意識が乏しいかもしれない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

○軒下マップを活用した支援を考えられるようにする。そのためには研修会に参加し、勉強会でスタッフ全員が学べるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 7 日 (17:30 ~ 19:00)

6 . 連携・協働

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	4 人	7 人	人	11 人

前回の改善計画
南郷地区会館で行われている‘はつらつ塾’や‘おたっしやサークル’へ出向っていく
前回の改善計画に対する取組み結果
・ 定期的ではないが担当職員が出向いている ・ 担当を決められているが参加できなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか？		5	6		11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		8	3		11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか？		7	3		11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	7			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①② = 担当者が行っている ③④ = 出向く機会は確実に増えている。地区会館での趣味の展示会や地区の防災訓練に、利用者と一緒に参加できている。毎月体操教室で地域の方に講師に来てもらっている。ボランティアの方や学童クラブ、小学校の授業として来訪がある。家族や利用者の知人も来訪されている。地域の方が見学に来たり、相談	

の為に来訪される方も増えている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①②③ = 担当者以外の会議参加はあまりできていない。婦人会や町内会の活動把握が出来ていない。ケアスタッフが出向くためのチームとしての協力体制が現状厳しく、出向くには計画をしていないと後回しになってしまう(どのようなことも)

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 南郷地区会館で行われている‘はつらつ塾’や‘おたっしやサークル’へ出向く計画を勤務表に反映させる。
- イベントにご家族や地域の方々に参加していただくことを企画していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 7 日 (17:30 ~ 19:00)

7 . 運営

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	4 人	7 人	人	人	人

前回の改善計画	アンケートを実施し、客観的な意見をいただけるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 満足の評価が多くモチベーションもあがった ・ 実施して意見いただけ、職員間で共有し改善計画が立てられた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	2	6	3		11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	7	3		11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	5	4		11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		7	4		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①② = 気付いた事、その場で思った意見は伝える様にしている。毎日の朝礼ミーティングから、利用者や家族からの意見や苦情はすぐに知ることが出来るので、早めに対応でき運営にも反映していると思う</p> <p>③ = 地域の方から相談を受けたことを地区会長に伝えて対応してもらった</p> <p>④ = 運営推進会議を通じて、顔を合わせることで相談しやすくなり協力体制が強化されてきていると思う</p>	

--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①② = 苦情は水面下でのことになり、反映できていないこともある。苦情を受けても職員個人の対応のことになると反映しづらく、対応しきれていないこともある。	
③④ = 地域の方々は、なんごうえがお という場所を知っていても、頼るところは市役所等の機関を考えていると思う。地域に出向くにはどのようにしてよいかわからないスタッフも多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○利用者や家族がより意見を言いやすい形のアンケートを実施する。	
○イベントにご家族や地域の方々に参加していただくことを企画していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 7 日 (17:30 ~ 19:00)

8 . 質を向上するための取組み

メンバー 1 1 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	4 人	4 人	3 人	人	人

前回の改善計画

・ ヒヤリハットを提出していても同じ事が繰り返されているので、関わっていた当事者 (スタッフ) にきちんと伝え、発見者と当事者が記録を提出していく

前回の改善計画に対する取組み結果

・ 忘れ物やうっかりミスของヒヤリハットが多く、繰り返されている
・ 提出しているが減らない。当事者にはなかなか言いにくく、提出は揃って出ていないことが多い。発見となるので、当事者として提出しなくてよいと思ってしまうのか？
・ 回覧もしているので今後気をつけるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・ 職場外) を実施・ 参加していますか	3	8			1 1
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	8			1 1
③	地域連絡会に参加していますか	5	6			1 1
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	7	2		1 1

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②④ = 研修出席者が、職員カンファレンスや勉強会で報告しあいが出来ている。そこから気づきや学び、理解に繋がっている。また事例を通して振り返りを少しずつしているので、ケア対応の振り返りができるようになっている。研修報告書の回覧もできている。研修会に参加して、理解しているつもりだったが実

際には理解していないことを知ることが出来た。
 ③ = 担当者が参加している

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ①②④ = 研修に参加する意味をしっかりと持てていなかったため、結果うまく報告できなかった
 ③ = 担当者以外に参加は来ていない。
 ④ = ヒヤリハットが失敗したら提出する という始末書的に解釈されているのかもしれない。自分事に置き換えることができていないように思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ○研修後の伝達講習で、学んだことをどう活かすかまでを話し合い実施していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月7日 (17:30 ~ 19:00)

9 . 人権・プライバシー

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	人	人	人

前回の改善計画
 権利擁護についての講義を事業所として受け、理解を深める

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・研修会参加し伝達講習を勉強会等で行い、意見交換できた。そこから権利侵害ではないか？プライバシーの侵害しているのではないかとケアや対応に気づき修正することができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
-----------	--	-------------	---------------	---------------	----------------	---------

①	身体拘束をしていない	6	5			1 1
②	虐待は行われていない	6	5			1 1
③	プライバシーが守られている	3	6	2		1 1
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	5			1 1
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	4	1		1 1

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場で考え、共感できる会話に努めている ・職員間の会話に「聴こえている」という意識をもち、気をつけている ・目上の方という意識を忘れず関わりに注意している ・フロア、和室や居室も自由に出入りできるようになっている ・外に出たい時には自由で出入りできるようになっている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・フロアで見守りしながら個人ファイルを広げて記録している時もあるので個人名が見えていることもある ・転倒リスクについて、ご本人了承の上でトイレ内の見守りしているが、プライバシー侵害に該当するのではないか？等安全性との兼ね合いを今後検討しなくてはいけないと思う ・苦情を活かした取り組みが出来ていないので、権利侵害等が続いているのかもしれない ・外に出ようとしていると出ないように対応してしまうことがある。入浴やトイレを本人のタイミングでない時に誘導している。自宅へ帰りたいたいと言っているのにすぐに送っていけない時もある（家族の意向で） 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○研修後の伝達講習で、学んだことをどう活かすかまでを話し合い実施していく。</p>	

法人名	株式会社 加賀福祉サービス	南出紀良	JA加賀を母体とした事業所で、法人として居宅系サービス事業も提供しています。隣接の畑で地域の方々の協力をいただき野菜を育て、その過程を楽しんでいただけるようにしています。「家におりたい」というご本人の言葉を大切に、特別な支援ではなく普段と変わらない穏やかな1日を‘えがお’で過ごして頂けるように法人理念をもとに取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能ホーム なんごうえがお	南出明子	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見
A. 事業所自己評価の確認	特定の職員だけでなく、全職員が関わりをもてるように、必ずできることを計画していく	関わりは出来ていても計画した内容を実施しようとしても具体性に乏しく出来なまま経過。職員の取組み姿勢にもばらつきがあった。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「あまりできていない・殆ど出来ていない」の方のチェックが多いと大丈夫なのか？と思う。 ・ 評価は‘個人’でなく‘事業所’とした評価基準であることを職員全員にきちんとわかるように説明したほうがよい。 ・ 重点項目は1つか2つに絞らないと実施していくことは難しい。目標はあくまでもご利用者の方に対してのものでなければならない。 ・ 計画は具体的で評価しやすいものにしたほうがよい。例えば数値化されたものにしてみては？ ・ 自己評価の低い項目「地域とのかかわり」「多機関とのかかわり」に焦点をあてて改善計画を立案すればよいのではないか。 ・ 事業所の取組み結果をまず職員で評価してもらい、その結果に対して「出来ている・出来ていない」としたほうがよいのでは？どの内容を参考に評価してよいかわからない。
B. 事業所のしつらえ・環境	ご本人・ご家族アンケートを9月までに実施集計し、今年度後半の取組みにいかす	アンケートの実施はできたが、後半への取組みやケア内容の見直しに結びつけることまでは出来ていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年に数回来ているが雰囲気はよいと感じるが、フロアで30分程一緒に過ごすと思居心地のよさや他の様子がわかると思う ・ いつも会議に来ると静かな雰囲気、静かすぎるのも居心地としてどうなのかと思う。 ・ 学校新聞を毎月持ってきているので、時間ある時に施設内に立ち寄ってみます。

C. 事業所と地域のかかわり	各おたっしゃサークル、サロン、はつらつ塾の担当者を決め、毎月職員会議で訪問計画を発表し参加報告する。また各町の老人会や婦人会にも訪問していく	担当者は決めていたが特定スタッフしか参加できなかった。老人会挨拶は2度行えた。地区の敬老の集いに管理者だけが毎年参加している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人に直接確認していないが知られているように感じる。 ・ 勤務表に参加予定を記入しておくとお出席しやすいかもしれない ・ 地域のイベントに参加した職員が職員会議で参加し連携出来ていることを伝えきれてないため、自己評価に「あまりできていない」にチェックがつくのではないが
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	1年に1回、ご利用者の自宅に担当者が伺いご家族も交えた話し合いを行い、実際どのような生活をされているか図化(軒下マップ)させていく	全ご利用者の軒下マップは作成できているが、自宅でゆっくりご家族から話を伺った中では出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域とかかわる は住んでいない場所で職員全員が関わりをもつことはむづかしいので、責任者が関わっていけばよい。そこで‘事業所’としてかかわっていることを職員全員に伝えなければまた来年も「出来ていない」にチェックがついてしまう。 ・ 軒下マップを作成し、それをどう具体的な支援にいかすか？が大切で書いて終了ではいけない。
E. 運営推進会議を活かした取組み	高齢者だけのことでなく南郷地区のまちづくりの上でニーズや課題について話し合える‘地域ケア会議’開催を目指す	ケア会議開催は出来ていないが、各参加者から困りごとやニーズは聞く機会として運営推進会議で出来ている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例検討会ではないが、事業所の利用者さんやランチ活動の報告を聞いている。細かい事を言われても答えることは難しい。 ・ 包括側として、はつらつ塾のことを地域に返す事が出来ていなかったのも、今後運営推進会議ではつらつ塾に参加されている方の話し合いをしていきたいと思えます。
F. 事業所の防災・災害対策	防火管理者を中心に1年に2回だけでなく、回数を増やして開催していく	定期訓練しか実施できていないが、3月に地区防災リーダーの方と訓練内容を計画し実施する予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防火訓練を実施していることは知っているが、具体的な防災計画(どのように避難するか)は知らない。 ・ 防災計画は近隣の助けを得る事は難しいことを加味し、実際に行動できる計画をたてなければならない。避難する時は自分のことで精いっぱいになるので

